

滑車で荷揚げ中の足場資材が落ち、作業員を直撃！

— 震災で被害のマンション外壁補修工事で —

☆ 平成23年4月29日午前8時ころ、仙台市内のマンション外壁補修工事で、足場を組立て中に資材落下事故が発生しました。

先の地震で外壁の一部が破損したマンション（13階建て）の補修をすべく、くさび足場の組立作業が行われていました。足場の15層と16層の間（地上からの高さ約28m）に滑車を設置し、これに通した繊維ロープを地上の作業員が引っ張り上げていましたが、ロープの結び目が解けて建地が落下しうち1本が付近でワイヤーロープ片付け作業中の被災者の頭部に当たったものです。

☆ 被災者の男性作業員（17歳）は、受傷の9日後に死亡しました。なお、被災時、ヘルメットは着用していませんでした。

☆ 荷揚げ中の建地は、重量が2本で12.8Kg、長さは各3.6mでした。また、繊維ロープは直径12mmでした。

☆ ロープが限界まで引き上げられ、滑車に当たった衝撃でロープの結び目が解けたものと思われます。

☆ 建地のうち1本は、足場上の別の箇所には作業員が取り込みをしていたため、落下を免れました。

☆ 足場はくさび足場ですが、その建地の穴に墜落防止用の安全帯のフック部分を引っ掛け、D環にロープを通して簡単に結び、これを滑車を通して下から引っ張っていた模様です。ベビーウインチが故障したため、このように手作業で実施していたようです。

★ 上下作業になる位置での作業は回避するよう留意しましょう。

